

## 巻頭言 大学評価第1期を終えて

### 評価文化は醸成されたか

この度の東日本大震災に被災された大学、学生諸君に日本高等教育評価機構一同心からお見舞い申し上げますとともに、復興と更なるご発展を祈念しております。

平成16(2004)年度より施行された認証評価制度による機関別評価の第1期は平成22(2010)年度で終わり、既存のすべての大学は設置母体によらず認証評価を3団体のいずれかで受けていることと思います。

当機構の評価活動は平成17(2005)年度に始まり6年間の申請大学は大学機関別が277校(うち再評価5校)、ファッション・ビジネス系専門職大学院が1校の延べ278校に上り、私立大学の約半数を評価させていただきました。評価を受けていただいた大学の理事長、学長をはじめ担当の教職員の方々にはご協力いただき感謝しております。評価結果は大学機関別の認定が251校、不認定が1校、判定保留が20校(うち5校は再評価ですべて認定)、ファッション・ビジネス系専門職大学院の認定が1校でした。

この6年間で評価員の延べ人数は1,272人になりました。また、後半の申請大学が増えたときには、大学から事務系スタッフを出向として派遣させていただきました。評価員の先生方、出向者の



(財)日本高等教育評価機構  
理事長 佐藤登志郎

方々、その御派遣を快諾してくださいました所属大学に深く感謝申し上げます。

当機構は、平成16(2004)年11月に財団法人として認可され、試行評価を経て平成17(2005)年7月に文部科学大臣より認証評価機関として認証を受けて活動を始めました。

日本私立大学協会に設けられた準備段階の会議には、当時附置私学高等教育研究所の喜多村和之主幹、明海大学学長を務めておられた高倉翔筑波大学名誉教授など、多数の専門家からご指導をいただきました。当機構成立後、副理事長として評価判定活動全般にわたりご指導頂いている高倉先生は、認証評価制度が導入された際の中央教育審議会での議論をまとめた認証評価制度の生みの親であり、また育ての親としても使命を果たしておられます。

法律によって義務づけるところから始まった日本の大学評価制度が「評価文化」として定着するまでには、なお年月がかかりそうです。教育の質保証や評価文化の主役は大学です。評価機関は、外部からの物差しを当てるのではなく、大学運営の誠実性(integrity)を見守ることが使命であると考えております。

## CONTENTS

巻頭言 ▶ 大学評価第1期を終えて	1
解説 ▶ 平成22(2010)年度評価結果	2.3
報告 ▶ 第1期の機関別評価を振り返って	4
STUDY 評価システム 意見申立て	5
委員会レポート ▶ 改善報告等審査会	6

寄稿 JIHEEに出向して	6
平成23(2011)年度事業計画	7
From JIHEE	7
役員名簿 & 会員大学一覧	8

## 解説 平成 22 (2010) 年度評価結果

当機構では、平成 22(2010)年度に、過去最多となる 85 大学(再評価 4 大学を含まず)の機関別評価を行いました。さらに、初めて 1 専門職大学院の専門分野別評価、及び過年度に条件付きでの「認定」であった 3 大学からの改善報告書を審査しました。

### 大 学

## 認証評価を契機とした 自主的な改革に期待



大学評価判定委員会 委員長  
高倉 翔

### 75 大学を認定

機関別評価では、すべて私立の 85 大学(株式会社立 1 大学を含む)のうち 75 大学が「認定」(うち 26 大学が改善報告書提出の条件付き)、9 大学が「保留」(うち 2 大学が再評価と併せ改善報告書提出の条件付き)、1 大学が「不認定」、再評価

4 大学すべてが「認定」とされ、過年度に条件付きでの「認定」とされた 3 大学すべての改善が認められました。

以上のように、残念ですが 1 大学が「不認定」となり、また、初めて 2 大学に再評価と改善報告書提出の条件が併せて付されました。認証評価を契機とした大学の自主的・自律的な改革・改善の努力を期待します。

### 保留・条件付き認定の増加

まず、判定の特徴を見ますと、「保留」と、条件付きでの「認定」の比率が、前年と比較して両者とも微増しています。すなわち、前者は 5/71 (7.0%) から 9/85(10.6%) へ、後者は 19/71 (26.8%) から 26/85(30.6%) へとなっています。

ついで、評価チームがまとめた「調査報告書案」に対する 1 回目の「意見申立て」及び大学評価判定委員会がまとめた「評価報告書案」に対する 2 回目の「意見申立て」をした大学の数と比率は、前年度と比較してほとんど変わりありません。ただ、1 大学当たりの申し立て件数は増加した印象がありました。このような状況に対応して、意見申立て審査会や大学評価判定委員会では、例年以上にきめ細かい審議をしました。今後も、「ピア・レビュー」の理念に基づき、審査・判定過程の一層の改善に努めます。

### SA 制度の採用が目立つ

中央教育審議会「中長期的な大学教育の在り方に関する第二次報告」では、「大学教育において最終的に保証されるべき質は、学生の学びの内容と水準」と提言しています。当機構も、「教育活動の状況を中心とした評価」を行ってきました。

その結果、例年のとおり「改善を要する点」の指摘事項は「優れた点」と同様に、基準 3 (教育課程)、基準 4 (学生) などの教学関係に多く見ら

### ■ 指摘の例

種類	基準	内 容
優れた点	4	身体の不自由な者が入学を予定する場合、入学前から入試課職員が学生の状況、要望などを確認し、学生生活に支障を来たさないよう、教務課・学生課と情報を共有し、最大限学生を支援できる体制を整えていることは高く評価できる。
	6	職員の資質・能力の向上と事務組織の活性化を目的とする多様な研修(階層別と業務別に区分された普通研修と海外派遣、自己啓発及び学外研修による特別研修)が制度化され、組織的な研修として有効に機能している点は高く評価できる。
参考意見	3	シラバスに成績評価方法及び授業計画が掲載されていない科目が一部見られるので、早急に整備することが望まれる。
	7	自己点検・評価報告書をホームページ上で公開することが望まれる。
改善を要する点	5	学生による授業評価や卒業生へのアンケート結果の活用が各教員に一任されているなど FD 活動が全学として組織的に行われていない点について、改善が必要である。
	8	経営改善計画に従って、継続して教育の質的維持と入学定員の確保に向けての改善が必要である。

れました。また、基準7(管理運営)と基準8(財務)にも「改善を要する点」の指摘が多く見られました。昨年度も、私立学校法などの法令に抵触するケースが見られたことは残念です。

平成22(2010)年度は、比較的歴史の新しい大学(大学院未設置の大学)が多く、従って、TA( Teaching Assistant)やRA( Research Assistant)制度を採用できず、独自にSA( Student Assistant)制度を採用している大学が16校程ありました。「評価の視点」などにSAに関する記載の追加を検討します。

## ファッション・ビジネス系専門職大学院

### 関係機関とともに途を拓き 一層の改善を目指す

ファッション・ビジネス系専門職大学院  
評価判定委員会 委員長  
瀧澤博三



#### 初めて評価を実施、認定

専門職大学院は平成16(2004)年の制度発足以来、法科大学院をはじめビジネス、会計、公共政策など多様な分野で設置が進んできましたが、これに対応して各分野の認証評価体制も整えられつつあります。

当機構でも、ファッション産業界の要請を受けて、服飾を中心としたファッション・ビジネス分野の専門職大学院の認証評価を目指し、関係団体の協力も得ながら、評価基準や評価システムの検討を続けてきましたが、昨年3月には文部科学省の認証を得て評価の体制を整えました。平成22(2010)年度には1大学院からの申請を受け、この分野で初めての認証評価を実施した結果「認定」の判定をし、公表を終えたところです。

#### 専門職団体との連携が不可欠

この専門職大学院認証評価は、大学全体を総合的に評価する機関別評価ではなく、カリキュラムや教員組織に重点を置く分野別評価ですから、当該専門職に係る職業上の資質・能力や職業倫理の維持向上をミッションとする専門職団体(業界、学会など)との連携・協力が不可欠です。特に、専門職大学院という制度自体が、これまで研究中心であった大学院に高度の実務教育の体系を確立しようとする大学院改革の先駆けですから、その評価に既定のマニュアルはなく、関係団体・大学とともに新しい途を拓いていかなければなりません。

今回の評価の経験を踏まえ、引き続き関係方面のご協力を頂きながら、評価の一層の改善に努めて参りたいと考えています。

#### 平成22(2010)年度評価結果の概要

##### 大 学

##### ■ 認定とした大学 75大学 ☆は条件を付した大学 26大学

愛知学泉大学/愛知東邦大学/☆上野学園大学/浦和大学/☆エリザベト音楽大学/大阪観光大学/大阪経済大学/大阪経済法科大学/☆大阪芸術大学/大阪国際大学/☆大阪成蹊大学/大阪人間科学大学/☆岡山学院大学/沖縄キリスト教学院大学/鹿児島純心女子大学/鎌倉女子大学/関東学園大学/九州共立大学/九州情報大学/☆共栄大学/京都情報大学院大学/京都造形芸術大学/群馬医療福祉大学/☆健康科学大学/神戸芸術工科大学/☆国際大学/国士舘大学/札幌国際大学/☆山陽学園大学/☆静岡英和学院大学/尚網大学/尚網学院大学/白梅学園大学/☆鈴鹿国際大学/諏訪東京理科大学/成安造形大学/☆星槎大学/☆星泉大学/西南女学院大学/圣母大学/清和大学/☆千里金蘭大学/☆高岡法科大学/高崎商科大学/中国学園大学/☆筑波学院大学/帝京平成大学/デジタルハリウッド大学/☆帝塚山学院大学/☆東京家政学院大学/☆東京女子館大学/東北女子大学/徳島文理大学/徳山大学/☆苫小牧駒澤大学/富山国際大学/日本獣医生命科学大学/日本文化大学/☆羽衣国際大学/☆八戸大学/浜松学院大学/福岡国際大学/福島学院大学/富士常葉大学/文化ファッション大学院大学/平安女学院大学/北翔大学/☆北海商科大学/宮崎産業経営大学/ものつくり大学/☆八洲学園大学/山口東京理科大学/☆山口福祉文化大学/四日市大学/☆稚内北星学園大学

##### ■ 保留とした大学 9大学 ☆は再評価と併せて条件を付した大学 2大学

青森大学/四條畷学園大学/太成学院大学/東京福祉大学/東北文化学園大学/奈良産業大学/☆日本橋学館大学/☆東日本国際大学/横浜商科大学

##### ■ 不認定とした大学 1大学

創造学園大学

##### ■ 再評価で「認定」とした大学 1大学 ( )内は認証評価受審年度(以下同)

志学館大学(平成20(2008)年度)/鈴鹿医療科学大学(平成20(2008)年度)/多摩大学(平成20(2008)年度)/名古屋産業大学(平成20(2008)年度)

##### ■ 改善報告書の審査により「改善が認められた」とした大学 1大学

岐阜経済大学(平成18(2006)年度)

##### ■ 改善報告書の審査により「概ね改善が認められた」とした大学 2大学

星城大学(平成20(2008)年度)/東北生活文化大学(平成19(2007)年度)

##### ファッション・ビジネス系専門職大学院

##### ■ 認定とした大学院 1大学院

文化ファッション大学院大学 ファッションビジネス研究科

## 6年間の積み重ねを土台に FAQを使って進化する

平成22(2010)年度で大学機関別認証評価の最初の7年間である第1期が終了しました。当機構は、平成17(2005)に4大学の評価からスタートし、この6年間で277大学の評価を実施しました。特に、昨年度は最終年度ということもあり、89大学の評価を無事終えることができたのは、毎年積み重ねた改善の成果であると自負しています。

(財)日本高等教育評価機構  
評価事業部 部長  
伊藤 敏弘



### 評価基準の改定

当機構は、新設の団体であり、他機関と違って多くの経験を有していないこと、また、下表のように増加する評価申請校に対応するために、効率化を図ることが求められてきました。特に、平成19(2007)年度からさまざまな改善や変更を行ってきましたので、これを機に振り返ってみたいと思います。

表 第1期の申請校数  
(うち再評価)

年度	申請校数
17(2005)	4
18(2006)	16
19(2007)	38
20(2008)	58
21(2009)	72(1)
22(2010)	89(4)
計	277(5)

まず、大学評価基準については、第1期の期間は微修正で対応することにしました。平成19(2007)年度から3年間続けて基準の見直しを行い、重複部分やあいまいな表現の修正、さらに、変更された大学設置基準に対応するために改定を行い、随時対応してきました。

### 評価の効率化と簡素化

評価を受ける大学と評価員双方の負担を軽減するために平成19(2007)年度に基本となる実地調査の日程を変更しました。2泊3日の実地調査の初日を移動日とし、実質2日間で実地調査を行うこととしました。

さらに、自己評価報告書・本編やデータ編の当機構による事前チェック、また、実地調査をスムーズに行うために評価申請大学との事前相談を始めました。事前相談は、実地調査前の段階で、大学から質問を受けたり、当機構からスケジュールの

説明をしたりするもので、大学又は当機構事務局で行っています。多くの大学から評価の準備において効果的だったという声をいただいております。

また、大学及び評価員向けのマニュアルである各種「てびき」も作成し、年度ごとに改訂を重ねてきました。

### 増加する申請校への対応

毎年増加する評価申請大学に対応するため、平成19(2007)年度からは会員大学などからの職員出向者の派遣及び自己評価報告書の提出期限の変更(7月末から6月末へ)を行いました。出向者については、過去4年間で13大学から計16人の職員の方々にご協力をいただきました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

また、評価員のボランティアによるご協力なしでは、第1期を乗り越えることはできませんでした。多いときには約1,000人の評価員に登録していただき、その中には6年連続で担当していただいた方も多くいらっしゃいました。実際に評価をご担当いただいた方は延べ1,272人になります。心から御礼を申し上げます。

### FAQの活用

このように、改善を進めることができたのは、何よりも大学と評価員からの意見や質問のおかげです。特に、FAQ(よくある質問)については、すぐに実行に移し、改善するよう心がけてきました。今後も多くの意見に耳を傾けながら、理想の評価を目指して進化するシステムを作っていきたいと思います。

大学は、評価チームが作成する調査報告書案と大学評価判定委員会が作成する評価報告書案について意見が生じた場合、当機構に対して意見申立てを行うことができます。意見申立ては、評価結果が確定する前の段階で行う、大学と当機構(評価チーム)とのコミュニケーションツールです。今回はこの「意見申立て」について説明します。

◆ **意見申立ての流れ**

大学の意見申立ての機会は2回あります。うち、1回目は調査報告書案に対して行います。内容への意見と、語句の修正を求めるものの2種類があります。

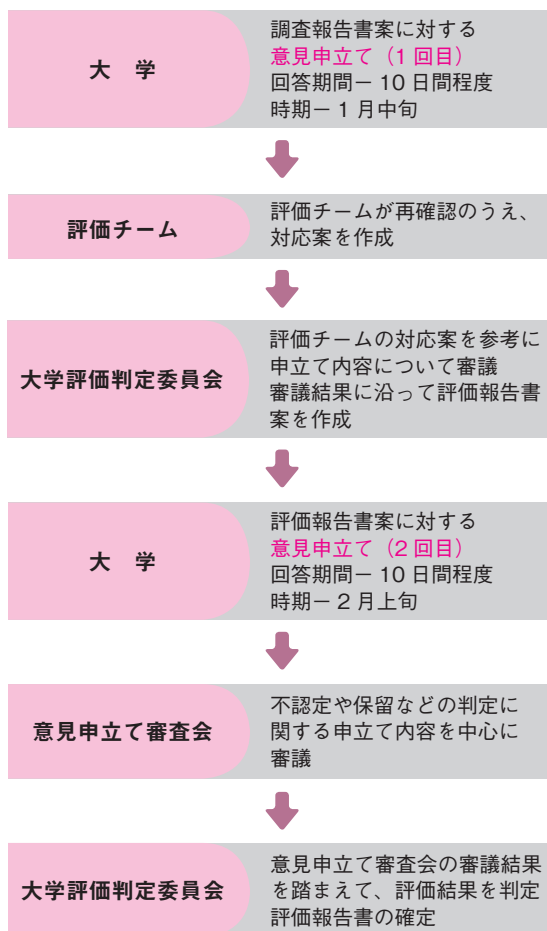
意見申立てを受けて評価チームは、自己評価報告書や資料類を再確認のうえ、意見に対する対応案を作成し、大学評価判定委員会に提出します。対応案は、大学へは送付しません。

大学評価判定委員会は、その対応案を踏まえて審議を行います。必要に応じて評価員も出席し対応案を説明します。大学評価判定委員会は審議結果に従って評価報告書案を作成します。

2回目の意見申立てはこの評価報告書案に対して行うもので、大学評価判定委員会以外のメンバーで構成する意見申立て審査会が審議します。ここでは、不認定や保留など判定に対しての意見を中心に審議します。

意見申立て審査会の審議結果を踏まえ、大学評価判定委員会が再審議し、評価報告書を確定します。併せて調査報告書も確定します。

■ **フローチャート**



◆ **Q & A**

**Q** 調査報告書案の指摘内容の中で、すでに改善対策を行った事項については、意見申立てを行うことにより、評価結果は変わりますか。

**A** 評価対象期間を実地調査最終日としているので、実地調査が終了した後の活動状況や改善対策を行った事項については結果に反映しません。ただし、総評でコメントする場合があります。

**Q** 1回目の意見申立ての内容が認められな

かった場合、2回目も同じ内容の意見申立てをすることはできますか。

**A** 1回目と同じ内容の意見申立てについても原則審議します。ただし、状況が同じであれば、審議結果は変わりません。

**Q** 意見申立てに対する回答は、どのような方法で通知されますか。

**A** 大学へ回答はしませんが、その結果は、3月末に送付する調査報告書と評価報告書を確認してください。

## 「学生の利益」を視점에審査

改善報告等審査会は、改善条件付きで認定を受けた大学から提出される改善報告書の内容について審査を行っています。この報告書は、組織や規程などの大幅な変更なく短期間で不備な点の改善が可能な場合、それを条件に認定と判断された大学に対して提出が求められるものです。昨年度は、3人の委員で審査会を構成し、大学の改善報告を審査しました。

まず、委員の経験・専門分野と改善事項が整合するよう担当大学を割振り、改善策とその実施状況を各自が精査しました。その後、それぞれの分析結果をレビューし、全員で審査を行いました。

審査では常に「学生が受ける利益」という視点に立ち、その改善策が学内で十分検討されたか、持続可能であるか、適切に実施されているか、なぜ評価を受ける前に改善できなかったのか、などを精査しました。どの大学の報告書からも改善への真しな姿勢がうかがえました。

委員長 鈴木 公  
元東京理科大学  
理学部 教授



苦勞したことは、審査期間が1か月程度と短かったことです。それでも、各委員が審査内容に精通していたので、効率的に作業が行えたと思います。

今回の審査会とこれまでの評価員としての経験から、大学が大きな負担なく短期間で改善できる不備な点は多いと感じています。もしそれらが速やかに改善できるのであれば、それは学生の利益拡大、大学の発展、高等教育の発展という観点から好ましいことです。

残念ながら、現行のシステムにそのような改善を速やかに策定し、実施を促す仕組みがありません。当審査会を利用することも考えられますが、別途にその仕組みを構築することが出来れば望ましいのではないかと思います。

### 寄稿

## JIHEE に出向して

帝京大学 守屋 秀之



私は帝京大学から日本高等教育評価機構(以下、評価機構)に出向し、平成19(2007)年度から4年間にわたり、認証評価に関する事務作業に携わりました。具体的には、実際に評価を担当する評価員と評価を受審する大学との連絡を取り持つこと、評価に必要な資料の手配に関すること、実地調査や各種会議の進行、評価員が作成する報告書の校正に関することなどでした。

出向する以前は、認証評価とは、「やむを得ず受ける強制的な制度」という印象を持っておりました。それは、文部科学省の認証を受けた評価機関が、大学を定期的にチェックするという観点から導入された制度という認識だったからです。

しかし、評価機構での評価作業を通じて、認証評価制度のみならず高等教育全般の動向についても理解が深まるにつれて考えが変わってまいりました。その結果、大学にとって厳しさが増している昨今の社会情勢において、自らの大学と高等教育の発展・向上のためには、評価制度を単なる義務とするのではなく、有効性と意義を理解し、どのように活用し、機能させるかが重要であると考えようになりました。このように大学人としての視野が広がったことは、評価に従事できた成果であり、出向制度の継続を望みます。

今後、評価機構に望むことは、新評価基準による第2サイクルがスタートするにあたり、評価制度をより一層効率的・効果的に機能させることです。全大学人がこの制度を正しく捉え、それぞれの所属する大学の発展のために重要であることを認識させる役割を担うことを期待しております。

## 平成 23 (2011) 年度 事業計画書

### 1. 評価事業

平成 23 (2011) 年度は、大学 16 校 (再評価 3 校含む) の評価を実施します。短大評価は 9 月に次年度の評価申請を募集し、ファッション・ビジネス系専門職大学院は昨年度に実施した評価の検証を行います。なお、東日本大震災に関連し、大学が評価に影響する特段の措置を行った場合は柔軟に対応することとします。

### 2. 評価員の養成事業

評価員が不足する分野及び次年度以降に実施する短大評価のための評価員候補者について必要に応じて募集し、研修を実施した上で委嘱します。

### 3. 大学評価に関する調査・研究

平成 24 (2012) 年度以降の評価システムについ

て引き続き検討を行い、試行評価を実施します。また、海外の評価機関や既受審大学に対する調査・研究、国際会議の参加などを積極的に行います。

### 4. 大学評価に関する広報及び啓発活動

評価機関としての活動状況及び評価結果等を公表するとともに、評価の意義、内容等を社会に広く理解いただくために、ホームページや広報誌での情報発信を強化します。また、英文ホームページの充実、評価員専用ページの開設も予定しています。

### 5. 公益法人制度改革への対応

今年度中の公益法人への移行認定をめざし、鋭意準備を進めます。

## From JIHEE

JIHEEからの連絡・報告などを掲載するコーナーです。

### 平成 22 (2010) 年度活動報告

#### ● 認証評価の実施 平成 21 (2009) 年 7 月～平成 22 (2010) 年 3 月

大学 89 大学 (再評価 4 大学含む) / ファッション・ビジネス系専門職大学院 1 大学院

#### ● セミナー・協議会の開催 5 月～7 月

「大学・短期大学評価セミナー」(東京・名古屋)

「認証評価担当評価員セミナー」(東京・大阪・名古屋・福岡)

「認証評価団長セミナー」(東京)

「評価充実協議会」(東京)

#### ● 3 認証評価機関・日本学術会議共催シンポジウムの開催 4 月～5 月

### お知らせ

#### ● 短期大学会員制が発足

受審予定の短期大学について「短期大学会員制」が発足しました。ご入会をご希望の場合は当機構ホームページ (<http://www.jiheer.or.jp/nyukai/nyukai.html>) をご参照ください。

#### ● メールマガジンの配信を始めました!

平成 23 (2011) 年 4 月からメールマガジンをお送りしています。1 か月に 1 度配信する予定です。

#### ● 既受審大学調査ご協力をお願い

平成 17 (2005) 年度から平成 22 (2011) 年度までに当機構において受審した大学に対し、評価結果の内容に対する理解、大学運営への反映状況な

どの聞き取り調査やアンケート調査を行います。調査結果を活用し、今後の認証評価の実施に反映しますので、ご協力をお願いいたします。

#### ● 「受審中マーク」を作成しました

当機構では認定期間を受審年の 4 月にさかのぼって定めるため、受審年度の翌年度から数えて 7 年目に受審した場合、受審中である当該年度の 1 年間は認定マークが使用できません。このたび受審中の 1 年間に限り使用可能な「認証評価受審中」マークを作成しました。なお、このマークは 2 回目以降の認証評価を受審される際に、必要に応じてお渡しいたします。



#### PeeR (ピア) 第 6 号

平成 23 (2011) 年 7 月 4 日発行

編集人 石井正彦

発行 財団法人 日本高等教育評価機構

所在地 〒102-0073

東京都千代田区九段北 4-2-11 第 2 星光ビル 2 階

TEL : 03-5211-5131 FAX : 03-5211-5132

URL : <http://www.jiheer.or.jp/>

「PeeR (ピア)」に関するご意見・

ご感想はこちらへお寄せください

✉ [hyoukakikou@jihee.or.jp](mailto:hyoukakikou@jihee.or.jp)

(件名を「ピア」としてください)



左右に配置された流線は「地球」と、両手で作る「輪」をイメージしています。大学と社会を結ぶ機構でありたいとの想いを込めました。また、カラーは高等教育発展にかけける情熱を表しました。

# 役員名簿&会員大学一覧

平成 23(2011)年 6 月現在

## 役員名簿

### ●理事 (17 人)

〈理事長〉  
佐藤登志郎 (北里大学名誉教授・学校法人北里研究所顧問)  
〈副理事長〉  
高倉 翔 (筑波大学・明海大学名誉教授、明海大学前学長)  
〈理事〉  
石田 恒夫 (学校法人石田学園理事長)  
大沼 淳 (学校法人文化学園理事長、文化学園大学学長、日本私立大学協会会長)  
北島 義俊 (大日本印刷株式会社代表取締役社長)  
黒田 壽二 (学校法人金沢工業大学学長・総長)  
小出 忠孝 (学校法人愛知学院学長)  
後藤 淳 (学校法人名古屋電気学園理事長・総長)  
佐藤東洋士 (学校法人桜美林学園理事長、桜美林大学学長)  
高柳 元明 (学校法人東北薬科大学理事長、東北薬科大学学長)  
中村 量一 (学校法人中村学園理事長・学園長)  
西村 駿一 (学校法人別府学園顧問)  
野崎 弘 (財団法人教職員生涯福祉財団理事長)  
野田起一郎 (学校法人近畿大学顧問、近畿大学名誉教授)  
廣川 利男 (学校法人東京電機大学学事顧問)

森田 嘉一 (学校法人京都外国語大学理事長・総長)  
森本 正夫 (学校法人北海道園理事長、北海道商科大学学長)  
●監事 (3 人)  
齋藤 力夫 (永和監査法人代表社員)  
塚本 邦彦 (学校法人塚本学院理事長・学院長、大阪芸術大学学長)  
中原 爽 (日本私立大学協会副会長、日本歯科大学元理事長・学長)  
●評議員 (31 人)  
井尻 昭夫 (学校法人吉備学園理事長、岡山商科大学学長)  
大西 良三 (学校法人中部大学学長)  
大橋 秀雄 (学校法人工学院大学顧問)  
加賀谷 淳子 (日本女子体育大学名誉教授)  
香川 達雄 (学校法人香川栄養学園理事長)  
北古賀勝幸 (学校法人熊本園前理事長)  
蔵多得三郎 (学校法人明星学苑理事長)  
小出 秀文 (日本私立大学協会事務局長)  
小林 素文 (学校法人愛知淑徳学園理事長、愛知淑徳大学学長)  
島田 燁子 (学校法人文京学園理事長・学園長)  
末岡 照章 (学校法人市郡学園学長、理事長、名古屋経済大学学長)  
杉本 拓 (学校法人北星学園前理事長)

瀧澤 博三 (日本私立大学協会附属 私学高等教育研究所主幹)  
田中 郁三 (東京工業大学名誉教授)  
谷岡 一郎 (学校法人谷岡学園理事長、大阪商業大学学長)  
塚本 桓世 (学校法人東京理科大学理事長)  
東松 孝臣 (学校法人常翔学園名誉理事)  
戸田 安士 (学校法人金城学院名誉理事長)  
永田 治雄 (学校法人津曲学園理事長)  
西岡 信雄 (大阪音楽大学名誉教授)  
野原 明 (文化学園大学教授、同附属杉並中学校高等学校校長)  
原田 嘉中 (学校法人千葉学園理事長・学園長)  
平尾 和義 (酪農学園大学名誉教授)  
福井 直敬 (学校法人武蔵野音楽学園理事長、武蔵野音楽大学学長)  
福原 隆善 (佛教大学教授)  
朴澤 泰治 (学校法人朴沢学園理事長、仙台大学学長)  
細山田明義 (学校法人昭和学園顧問、昭和大学名誉教授)  
村崎 正人 (学校法人村崎学園園長・理事長)  
柳谷 透 (学校法人八戸工業大学会長)  
吉田 泰輔 (国立音楽大学名誉教授)  
六鹿 正治 (株式会社日本設計代表取締役社長)

## 会員大学

〈大学 313 大学〉

### ●北海道

旭川大学  
札幌国際大学  
星槎大学  
千歳科学技術大学  
道都大学  
函館大学  
北翔大学  
北星学園大学  
北海学園大学  
北海道商科大学  
北海道医療大学  
北海道工業大学  
北海道情報大学  
北海道薬科大学  
酪農学園大学  
●青森県  
青森中央学院大学  
東北女子大学  
八戸大学  
八戸工業大学

### ●岩手県

富士大学  
盛岡大学  
●宮城県  
尚綱学院大学  
仙台大学  
東北工業大学  
東北生活文化大学  
東北文化学園大学  
東北薬科大学  
●秋田県  
秋田看護福祉大学  
ノースアジア大学

### ●山形県

東北芸術工科大学  
東北公益文科大学  
●福島県  
いわき明星大学  
郡山女子大学  
東日本国際大学  
福島学院大学

### ●茨城県

筑波学院大学  
●栃木県  
足利工業大学  
国際医療福祉大学  
作新学院大学

### ●群馬県

関東学園大学  
共愛学園前橋国際大学  
群馬医療福祉大学  
群馬パーズ大学  
高崎商科大学  
●埼玉県  
浦和大学  
共栄大学  
埼玉医科大学  
埼玉学園大学  
十文字学園女子大学  
尚美学園大学  
女子栄養大学  
駿河台大学  
西武文理大学  
東京国際大学  
東邦音楽大学  
日本工業大学  
日本薬科大学  
人間総合科学大学  
平成国際大学  
武蔵野学院大学  
明海大学  
ものつくり大学  
●千葉県  
愛国学園大学  
植草学園大学  
江戸川大学  
川村学園女子大学  
神田外語大学  
三育学院大学  
秀明大学  
聖徳大学  
清和大学  
千葉科学大学  
千葉経済大学  
千葉工業大学  
千葉商科大学  
東京成徳大学  
日本橋学園大学  
麗澤大学  
●東京都  
上野学園大学  
映画専門学校大学  
桜美林大学  
大妻女子大学  
嘉悦大学  
北里大学  
国立音楽大学  
国士館大学  
昭和大学  
杉野服飾大学  
高千穂大学  
多摩大学

### ●神奈川県

帝京大学  
帝京科学大学  
帝京平成大学  
東京音楽大学  
東京家政学院大学  
東京工科大学  
東京工芸大学  
東京純心女子大学  
東京女学館大学  
東京女子体育大学  
東京聖栄大学  
東京造形大学  
東京電機大学  
東京福祉大学  
東京富士大学  
東京未来大学  
東京理科大学  
桐朋学園大学  
日本医科大学  
日本歯科大学  
日本獣医生命科学大学  
洗足学園音楽大学  
日本女子体育大学  
日本体育大学  
文化学園大学  
文化ファッション大学院大学  
武蔵野音楽大学  
目白大学  
●神奈川県  
神奈川工科大学  
鎌倉女子大学  
産業能率大学  
松蔭大学  
昭和音楽大学  
洗足学園音楽大学  
田園調布学園大学  
八洲学園大学  
横浜商科大学  
●新潟県  
長岡大学  
長岡造形大学  
新潟医療福祉大学  
大同大学  
新潟経営大学  
新潟国際情報大学  
新潟青陵大学  
●富山県  
高岡法科大学  
桐朋学園大学院大学  
富山国際大学  
●石川県  
金沢学院大学  
金沢工業大学  
金沢星稜大学

### ●福井県

名古屋商科大学  
北陸大学  
北陸学院大学  
●福井県  
仁愛大学  
福井工業大学  
●山梨県  
健康科学大学  
山梨学院大学  
●長野県  
諏訪東京理科大学  
長野大学  
松本大学  
松本歯科大学  
●岐阜県  
朝日大学  
岐阜経済大学  
岐阜女子大学  
中京学院大学  
東海学院大学  
●静岡県  
静岡英和学院大学  
静岡産業大学  
静岡福祉大学  
静岡理工科大学  
浜松大学  
富士常葉大学  
●愛知県  
愛知学院大学  
愛知学泉大学  
愛知工科大学  
愛知工業大学  
愛知産業大学  
愛知淑徳大学  
愛知東邦大学  
愛知みずほ大学  
桜花学園大学  
金城学院大学  
修文大学  
椛山女子学園大学  
星城大学  
大同大学  
中部大学  
東海学園大学  
同朋大学  
豊橋創造大学  
名古屋音楽大学  
名古屋外国語大学  
名古屋学芸大学  
名古屋経済大学  
名古屋芸術大学  
名古屋産業大学

### ●香川県

帝塚山学院大学  
常盤会学園大学  
梅花女子大学  
羽衣国際大学  
東大阪大学  
ブルー学院大学  
森ノ宮医療大学  
●兵庫県  
芦屋大学  
大手前大学  
関西国際大学  
関西福祉大学  
甲子園大学  
甲南女子大学  
神戸学院大学  
神戸芸術工科大学  
神戸国際大学  
神戸山手大学  
宝塚大学  
兵庫大学  
●奈良県  
奈良大学  
奈良産業大学  
●鳥取県  
鳥取環境大学  
●岡山県  
岡山学院大学  
岡山商科大学  
岡山理科大学  
倉敷芸術科学大学  
くらしき作陽大学  
山陽学園大学  
中国学園大学  
美作大学  
●広島県  
エリザベト音楽大学  
比治山大学  
広島経済大学  
広島工業大学  
広島国際大学  
広島国際学院大学  
広島文化学園大学  
広島文教女子大学  
●山口県  
宇部フロンティア大学  
東亜大学  
徳山大学  
梅光学院大学  
山口東京理科大学  
山口福祉文化大学  
●徳島県  
徳島文理大学

### ●福岡県

四国学院大学  
高松大学  
●愛媛県  
松山東雲女子大学  
●福岡県  
九州栄養福祉大学  
九州共立大学  
九州国際大学  
九州情報大学  
久留米工業大学  
西南学院大学  
聖マリア学院大学  
筑紫学園大学  
福岡工業大学  
福岡国際大学  
福岡歯科大学  
福岡医科大学  
西九州大学  
●長崎県  
長崎ウエスレヤン大学  
長崎国際大学  
長崎総合科学大学  
●熊本県  
九州看護福祉大学  
熊本学園大学  
熊本保健科学大学  
尚綱大学  
平成大学  
崇成音楽大学  
●大分県  
日本文理大学  
別府大学  
●宮崎県  
南九州大学  
宮崎国際大学  
宮崎産業経営大学  
●鹿児島県  
鹿児島国際大学  
鹿児島純心女子大学  
志学館大学  
第一工業大学  
●沖縄県  
沖縄キリスト教学院大学  
沖縄国際大学  
名桜大学

### 〈短期大学 1 大学〉

●福岡県  
中村学園大学短期大学部